
未来へつなぐバトン

千代田区戦争体験記録集・目次

第1部 写真で見る戦争の記憶

特集1 戦争への道のり	2
特集2 千代田区内の戦争	6
特集3 戦時下の学童・生徒	14
特集4 戦時下の暮らし	20
発刊にあたって — 千代田区戦争体験記録集 —	25
千代田区長 石川雅己	

第2部 体験記 千代田区戦争体験記録集

空襲

15歳のとき、東京大空襲を目の当たりに	36
防空壕の中で焼け焦げていた私の教科書	42
母が空襲の時にたった一つ持ち出した「枕」の中身	50
大切な学校は空襲で焼けた	54
角田実	
富川昭枝	
福地貞子	
三輪田芳子	

疎開

終戦の日、「祖国へ帰れる！」と叫びながらスキップをしていた、異国の少女たち	60
父親の田舎に疎開し、そこで暮らした6年間	68
地元の人たちの思いやりに助けられた学童疎開	74
岡村節子	
杉田宗一	
鈴木榮一	

仲間たちと会津で過ごした1年間 中島光治 81

河口湖での疎開生活は「わが人生に食い物なし」 山口光弘 86

暮らし

学徒動員で働いた日々 木下正義 98

叔父は一枚の紙になって帰ってきた 竹田靖子 103

焼け残った椅子を使い、焼け跡で行った無料理髪 根岸幸三郎 110

巣鴨プリズンで東条英機が最後に望んだ「サンマ」の塩焼 広瀬儀光 116

軍隊

特攻機に乗り、笑顔で飛び立っていった仲間たち 小野寺盛三郎、小野寺多美江 124

銚子の連隊から復員し、闇商売で家族を支えた 信太衛 133

インパール作戦に通信兵として従軍 永井孝之 140

予科練除隊で助かった命 櫻井正治 148

座談会

空襲に次ぐ空襲から、どうやって生き延びてきたか 川島巖、長谷部俊一 154

辛かった疎開生活と恐ろしかった空襲 小林東太郎、榎本芳弘、三村榮一、高野登喜 159

毎日食べること、生き延びることしか考えていなかった 女部田金造、櫻井守 170

戦時下年表 174

写真・資料提供 177

第3部 未来へつなぐバトン

戦争の悲惨さと平和の尊さを伝える、次の世代へとして

「千代田区戦争体験記録集」インタビュアーの活動報告

国際平和都市千代田区宣言

第4部 千代田区の誓い

心をつなぎ、平和を語り継ぐ志を次の世代へ

千代田区長 石川律子、
安田律子、
長嶋泰、横山嶺州多、三輪田颯真

第5部 未来に向かって

女優渡辺美佐子・千代田区長石川雅己対談

戦争のない平和な社会を若い世代に引き継ぐために

180

191

194

202

凡例

本書に収録した内容は、以下のような方針で編集・補正・作成しました。

戦争体験者の体験記は、インタビュー形式で音声による聞き取りを行い、主旨をまとめ文章にしています。口語体でのインタビュー内容を文章にした際、分かりやすいものはそのまま用い、活字に変換した際、分かりにくいものは、語尾等を修正し、文章化しました。

共通項目

- ① 漢字は、原則として常用漢字を用いしましたが、固有名詞については一部常用漢字表にない漢字も用いています。読者が子供から大人までを対象とするため、ご本人の理解を取りながら、できるだけ分かりやすい表現・文章にするよう努めました。
- ② 誌面の都合上、聞き取った内容の一部を掲載しています。
- ③ 口述内容と提供資料の尊重を原則としていますが、現在ほとんど使用していない用語は、言い換えを行っています。ただし、言い換えが困難なもの、または言い換えると意味や語り手のニュアンスが伝わらない用語は、そのまま使用しています。
- ④ 史実については、できる限り配慮をしました。しかし、本書の目的は史実を忠実に伝える歴史書ではなく、当時の個人の戦争・戦災体験談を伝えるものであるため、できるだけ体験者の記憶を尊重し、一部事実確認ができない事象・内容もそのまま掲載しています。
- ⑤ 本書内の年齢や学年は、いずれもインタビュー時のものです。

